

2019年 6月 14日 (金)

#### 4年生 「武蔵野クリーンセンター見学と事後学習」

5日(水)に、社会科見学として「武蔵野クリーンセンター」へ見学に行ってきました。

中央制御室では「現在の焼却炉の温度」(1号炉・2号炉:980~1000°Cの熱)、「本日のごみ焼却量」(21,480~26,520kg)、「排ガス測定値」(塩化水素:4.9~5.1ppm)(窒素酸化物:27.1~36.8ppm)、「本日の発電量」(ごみ焼却発電量:2,117~2,156kw、太陽光発電量:2~4kw)などもタッチパネルで随時見られ、国の環境基準値を大きく下回っていることも教えていただきました。ごみクレーンで約1トンのごみをつかんで落しを何度か繰り返し、燃えやすいようにしてから焼却炉に入れている様子に子どもたちは歓声をあげていました。不燃・粗大ごみは、一次破砕機・二次破砕機・磁力選別機を通して分別されていく様子も見ることができ、1984年度~32年間使用した、高さ59mの煙突は現在もリユースされていることも知りました。

見学後の学習では、ごみは燃やされることで灰になり重さが約10分の1、体積が約30分の1になること、灰は日の出町最終処分場に運ばれ、エコセメント施設によって歩道などのブロックなどに生まれ変わっていることを再確認しています。

9日(日)に行われた、「エコマルシェ」に足を運んだ児童が、授業でその時に学んだことを自主的に発表してくれました。

武蔵野市に隣接する(三鷹市、西東京市、小金井市)市指定のゴミ袋の比較、隣接する区(練馬区、杉並区)は指定のゴミ袋がないことなども確認しました。武蔵野市以外からも登校してきている子がいることを活かして幅広く学習しています。

武蔵野クリーンセンターの皆さま、5日(水)の見学では、多忙の中丁寧な案内・説明をありがとうございました。



